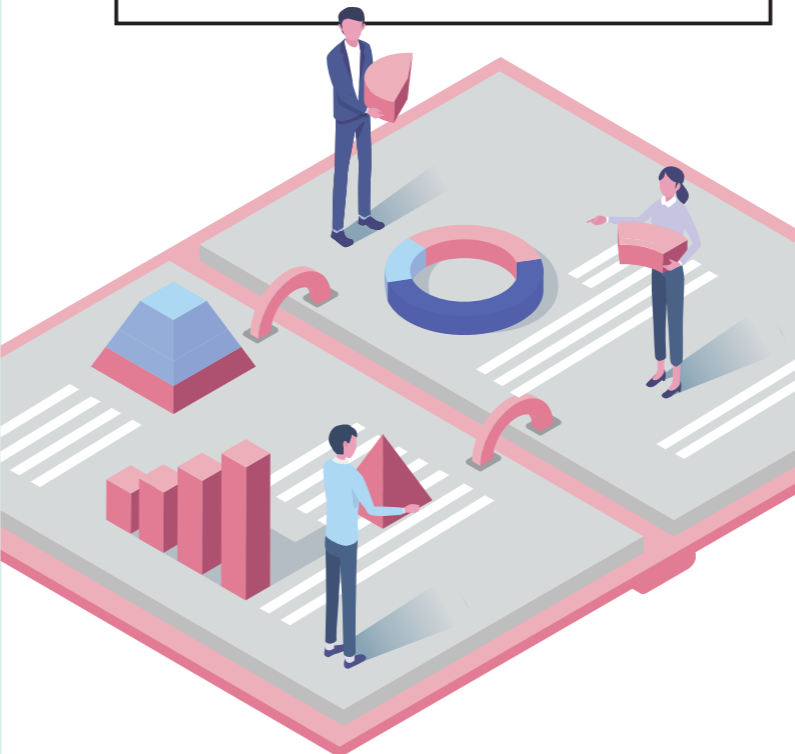


# 令和5年度 予算のお知らせ

当該健康保険組合の2023年度予算が2023年2月28日の組合会において可決されました。2023年度は、各種納付金が低く抑えられたことが大きく影響し2022年度と比べて余裕のある予算となりました。なお、健康保険料率、介護保険料率ともに変更はありません。

収入 支出 予算額	
健康保険	15億8,263万円
介護保険	2億4,033万円

保険料率 ※健康保険は調整保険料率1.3 / 1,000を含む			
	被保険者	事業主	合計
健康保険	37 / 1,000	50 / 1,000	87 / 1,000
介護保険	10.5 / 1,000	10.5 / 1,000	21 / 1,000



**おもな収入**  
●健康保険料収入  
健康保険組合の収入のほとんどは、みなさまからの保険料です。2023年度は14億7,300万円といたしました。

●その他  
健康保険組合が負担している健診関連費用のうち、事業主負担分を事業主へ請求しています。2023年度は4,560万円を見込んでいます。

**おもな支出**  
●保険給付費  
みなさまがお医者さんにかかったときの自己負担(2〜3割)以外の医療費や、出産・傷病時の各種手当金も保険給付費から支払われています。

●保健事業費  
2023年度は8億2,131万円を計上しました。

●各種納付金  
健診や特定保健指導、各種健康づくりの費用として1億17万円を見込みました。2023年度はさらなる受診率・参加率向上を目指すとともに、医療費分析等により引き続き健康課題の抽出にも取り組みます。

また、健診受診案内パンフレットについては、被扶養者に加えて任意継続被保険者・特例退職被保険者も配布対象とします。

### 2023年度 健康保険法等の改正について

■ 出産育児一時金の引き上げ 2023年4月より実施  
改正前 42万円 → 改正後 50万円  
※産科医療補償制度に加入していない医療機関で出産した場合は、掛金(12,000円)を除く488,000円

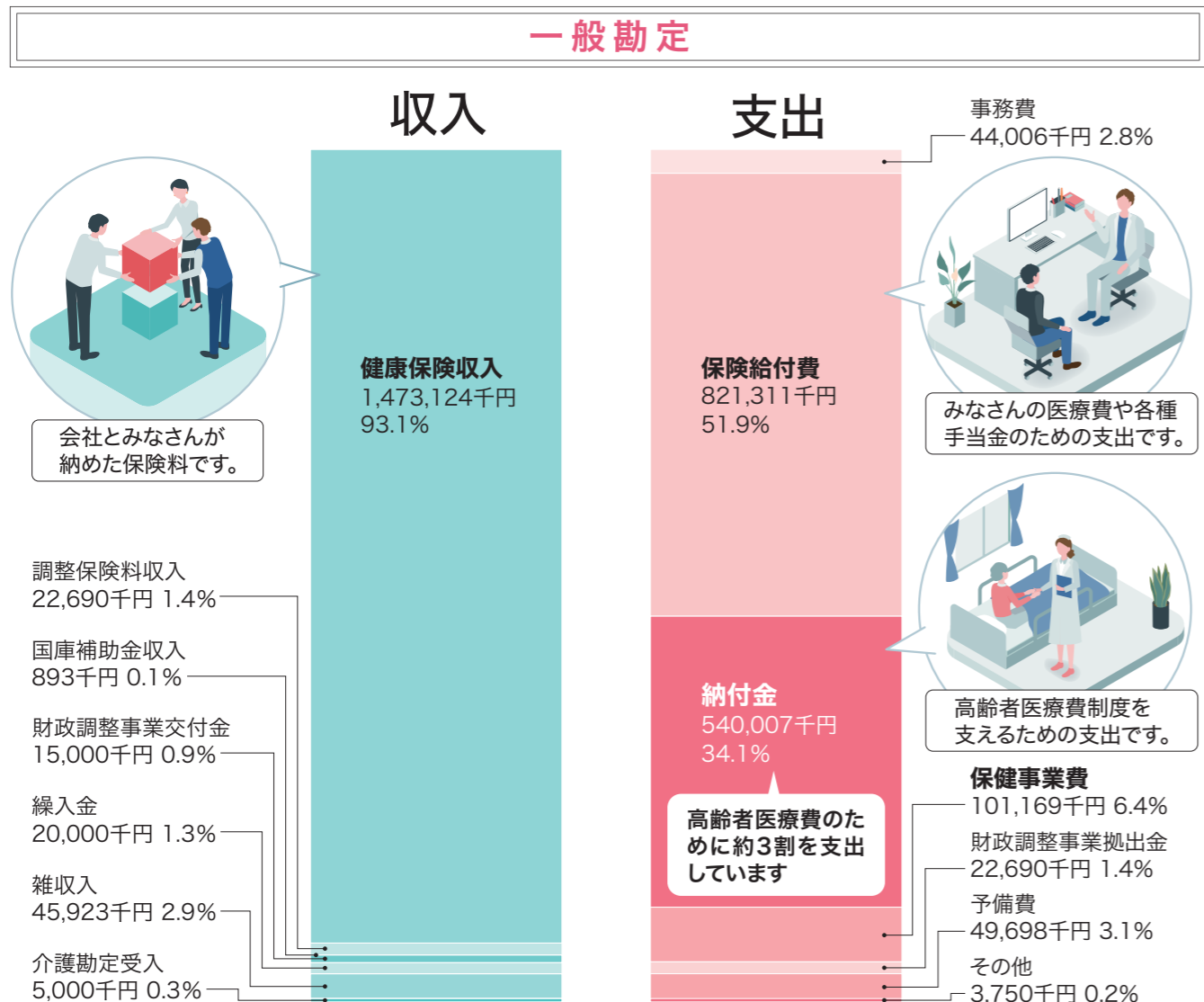
■ マイナンバー保険証対応の医療機関 2023年4月~12月までで受診した場合の追加負担の見直し

	従来の保険証	マイナ保険証
初診時	18円(12円)	6円(6円)
再診時	6円(0円)	0円(0円)

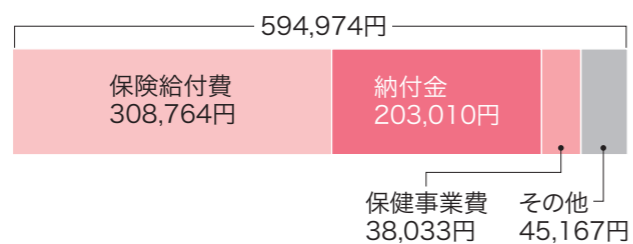
※3割負担の場合。( )内は改正前  
\*マイナ保険証非対応の医療機関では従来の保険証でも追加負担はありません。

健康保険組合では高齢者のための医療費を国へ納付しており、2023年度は65〜74歳の医療費(前期高齢者納付金)として1億6,340万円、75歳以上の医療費(後期高齢者支援金)として3億7,660万円支出します。なお、2021年度の精算分が加味されるなどの理由で2022年度比で3億7,538万円の減となっている最大の要因となっています。

## 一般勘定



### 支出を1人当たりでみると…



### 予算の基礎数値 (一般勘定)

被保険者数	2,660人
平均標準報酬月額	408,000円
総標準賞与額	4,197,800千円
平均年齢	43.79歳
扶養率	0.84人
前期高齢者加入率	3.59%

## 介護勘定

健康保険組合では市区町村に代わり、40歳以上の人の介護保険料を徴収し、介護納付金として国に納めています。高齢者の増加に伴って介護納付金も増加しており、収入支出予算額は2.4億円となりました。

